

「秩父地域物流ネットワーク協議会」を設立
～持続性の高いラストワンマイル網の構築に向けた取り組みを開始！～

一般社団法人ちちぶ結いまち(本社:埼玉県秩父市、代表理事:深田雅之、(以下:「ちちぶ結いまち」))を幹事企業とし、秩父地域における物流網の課題解決を目的とする「秩父地域物流ネットワーク協議会(以下:「本協議会」)」を設立し、2025 年 10 月 1 日(水)に第 1 回の会合を実施しました。

本協議会は、国土交通省「地域連携モダルシフト等促進事業」に採択され、実施するものです。

■地域連携モダルシフト等促進事業 ホームページ

<https://cxhub.jp/regional-modal-shift/>

秩父市では、2024 年度から大滝地域を中心とした共同配送サービス「おむす便(※1)」が民間事業者の主導で運用されています。また、ドローンを活用した配送実証にも取り組んでおり、人口減少と高齢化が進む中山間地域で持続性の高い物流網の構築に取り組んでいます。

一方で、地域のドライバー人材の担い手減少による輸送力不足と物流コストの上昇は一層深刻化しており、今後さらなる人口減少により、配送非効率エリアの拡大が見込まれることから、従来の取り組みだけではラストワンマイル網の維持が困難な状況にあります。

このような背景を受け、本協議会では、地域で運用されている地域物流や買物支援の配送リソース、新たな配送手段であるドローンの活用を含めて、地域全体で持続性・収益性の高い物流ネットワークの構築を目指します。

事業概要

秩父地域の持続性の高い物流ネットワークの構築

協議会名:秩父地域物流ネットワーク協議会

【事業実施背景】
秩父市では過疎化が進む中山間エリアにおいて共同配送サービスを実運用しており、新たな雇用や投資が生まれつつある。手配可能な車両台数・ドライバー数の中で、積載量を最大化することが求められる一方で、地域の人材不足も相まって、地域のラストワンマイル網の維持が課題となっている。そのため、地域で運用されている地域物流や買物支援の配送リソースや新たな配送手段であるドローンの活用を含めて、地域全体で持続性・収益性の高い物流ネットワークの構築を目指す。

協議会構成員
秩父市、一般社団法人ちちぶ結いまち、秩父商工会議所、ヤマト運輸株式会社、秩父通運株式会社、株式会社ベルク、KDDIスマートドローン株式会社、株式会社NX総合研究所、佐川急便株式会社、株式会社ゼンリン

事業内容

Point 共同配送サービスの市全域への横展開と配送非効率エリアにおけるドローン物流サービスを導入し、秩父地域(1市4町)への配送モデルの社会実装を目指す

想定事業実施効果

【共同配送の世帯カバー率の増加】
過疎エリア(吉田、荒川・浦山、大滝)へ共同配送サービスを拡大し、世帯カバー率増加
7% → 15%

【新サービスの導入件数の増加】
地域物流網を維持する新サービスを導入
0件 → 2件

【新規雇用者数の増加】
本事業を通じ新規雇用者を創出し、地域経済に貢献
0人 → 5人

< 協議会の事業概要 >

(※1) 2025 年 4 月 1 日 一般社団法人ちちぶ結いまちニュースリリース 「結いまち共同配送サービス「おむす便」の本格運用開始」

<https://www.c-yuimachi.com/2025/04/01/news/405/>

- 「ちちぶ結いまち」とは

ちちぶ結いまちは、秩父市および周辺地域の先端技術等を活用した産業の活性化による地域振興の推進を目的とし、ドローンや空飛ぶクルマ、自動運転等のロボティクス技術や AI、ビッグデータ、DX 等のデジタル技術の秩父地域での社会実装を支援するために設立した一般社団法人です。

今後は、地元企業や地域外の手企業とのマッチングや地元デジタル人材の育成、また、先端技術の社会実装のロールモデルを構築することで、安全・安心・快適な住民生活を提供し、貢献していきます。

(お問い合わせ先:info@c-yuimachi.com)

【組織概要】

社名:一般社団法人ちちぶ結いまち

英文:Connected City Chichibu (略称:CCC)

本社:埼玉県秩父市熊木町 9 番 5 号

代表理事:深田 雅之

設立:2024 年 2 月 15 日

公式サイト: <https://www.c-yuimachi.com/>